

**平成27年度 松江第四中学校**  
**「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果と分析**

◆各教科の結果分析及び課題解決に向けた対策

**国語**

・習熟度は平均的な生徒が多い。けれども、到達目標達成値（上位者）においては都の平均よりも6.6パーセント少なく、今後は平均的な生徒の習熟をやや高めていく必要がある。例えば語彙、漢字の習熟をより徹底させる。また、文章理解を踏まえた発表の機会を増やし、各自の体験や希望といったことを交え、まとめることを通じて話す、書くという表現力の育成を充実させたい。

**社会**

・都の平均よりも、正答率が4.0%高い。到達目標値に到達している生徒の割合が突出しているわけでないが、平均値の生徒が多い。  
 ・基礎的・基本的な知識の定着を目指す取り組みは継続しつつ、その知識を活用する場面を授業で取り入れる。文章から必要な情報を取り出す技能を身に付けるために、必要な情報の明確化と教科書の文章や地図帳などの資料の活用をより多く取り組む。

**数学**

・到達目標値達成の生徒の割合は都の平均より2.1%上回ったが、同時に習得目標値未達の生徒の割合は3.4%下回った。良く理解している生徒が多い反面、良く理解していない生徒が多いこともわかった。  
 ・CD層が多いことから、全体的に十分に理解していない生徒が多いと思われる。そのため講義形式を最小限にして、演習や練習問題に取り組ませる時間を増やす。また生徒同士が教え合い、習得していく学び合いを取り入れる。

**理科**

・正答率については、教科の内容は都の平均より0.4%高く、読み解く力は0.2%低い。観点別知識理解は2.9%高いが、読み取る力は0.9%低くなっている。A層が21.1%と多い反面D層も31.4%と多くなっている。  
 ・知識理解の習得に今後も努める。技能面の理解を深めるために実験の目的およびその操作、データ処理について一層意識して取り組ませる。  
 ・読み取る力を養うために問題練習等に多く取り組ませ、D層について関心を持てるような展開を考えていくとともに基礎的な知識の定着に一層努める。

**英語**

・習得目標値未達の生徒は少ないが習得目標値に達している生徒も少ない。上位層の割合が39.5%下位層が60.5%で、昨年度より上位層が13.9%上回り下位層が14.2%下回ったが、下位層の割合が高い。聞くこと、読むことについての設問は概ね正答率が高い。書くこと(表現)についての設問の正答率が特に低い。  
 ・書くことにさらに重点を置き、4技能をバランスよく育成できる授業プランにする。またプロジェクト的な活動を取り入れる。つながりのある文を話す、書く活動を行う。

◆各教科の調査結果（正答率：％）

教科	A 教科の内容			B 読み解く力に関する内容		
	本校	東京都	差	本校	東京都	差
国語	57.0%	57.7%	-0.7%	32.3%	33.4%	-1.1%
社会	58.3%	52.5%	5.8%	46.6%	49.2%	-2.6%
数学	50.4%	57.5%	-7.1%	51.9%	51.3%	0.6%
理科	54.7%	54.3%	0.4%	35.4%	35.6%	-0.2%
英語	60.8%	63.8%	-3.0%	37.1%	41.6%	-4.5%

AとBの合計		
本校	東京都	差
53.3%	54.1%	-0.8%
55.9%	51.9%	4.0%
50.7%	56.2%	-5.5%
49.5%	49.3%	0.2%
55.7%	59.0%	-3.3%

◆観点別の調査結果（正答率：％）

教科	A 教科の内容												B 読み解く力に関する内容													
	関心・意欲・態度			思考・判断・表現（国語：話す・聞く）（英語：外国語表現）			技能（国語：書く）（英語：外国語理解）			知識・理解（国語：言語）			読む			取り出す力			読み取る力			解決する力				
	本校	東京都	差	本校	東京都	差	本校	東京都	差	本校	東京都	差	本校	東京都	差	本校	東京都	差	本校	東京都	差	本校	東京都	差	本校	東京都
国語	59.7%	63.3%	-3.6%	52.6%	55.6%	-3.0%	32.8%	33.6%	-0.8%	63.2%	64.7%	-1.5%	70.1%	65.1%	5.0%	27.6%	30.6%	-3.0%	35.7%	34.2%	1.5%	38.4%	38.0%	0.4%		
社会	74.1%	72.5%	1.6%	55.3%	55.5%	-0.2%	54.5%	48.4%	6.1%	58.6%	50.2%	8.4%				50.8%	54.2%	-3.4%	45.1%	52.2%	-7.1%	43.8%	41.2%	2.6%		
数学	88.6%	86.1%	2.5%	25.4%	29.7%	-4.3%	54.2%	61.0%	-6.8%	45.9%	59.8%	-13.9%				71.6%	67.9%	3.7%	40.5%	40.2%	0.3%	43.5%	45.9%	-2.4%		
理科	88.1%	87.3%	0.8%	45.8%	46.0%	-0.2%	52.1%	58.1%	-6.0%	53.2%	50.3%	2.9%				46.2%	45.6%	0.6%	27.0%	27.9%	-0.9%	37.0%	37.2%	-0.2%		
英語	67.6%	71.8%	-4.2%	21.9%	33.1%	-11.2%	71.8%	72.1%	-0.3%	56.8%	60.4%	-3.6%				65.4%	65.3%	0.1%	27.6%	33.5%	-5.9%	18.4%	26.1%	-7.7%		

A層～D層分布図

国語			社会			数学			理科			英語		
正答数	人数	割合	正答数	人数	割合	正答数	人数	割合	正答数	人数	割合	正答数	人数	割合
A	38	21%	A	30	16%	A	25	14%	A	39	21%	A	34	18%
B	47	25%	B	60	32%	B	37	20%	B	36	19%	B	39	21%
C	47	25%	C	41	22%	C	54	29%	C	52	28%	C	52	28%
D	53	29%	D	54	29%	D	69	37%	D	58	31%	D	60	32%
受験	185		185		185		185		185					

\* A層～D層は調査者を正答数の大きい順に整列し、人数比率により25%刻みで4つの層に分けたもの。経年比較により各層の推移を捉え指導に生かしていくねらいを持つ。

到達目標値・習得目標値達成の割合

国語			社会			数学			理科			英語		
正答数	人数	割合	正答数	人数	割合	正答数	人数	割合	正答数	人数	割合	正答数	人数	割合
習得目標値未満	3	2%	習得	20	11%	習得	28	15%	習得	16	9%	習得	6	3%
到達目標値達成	26	14%	到達	24	13%	到達	34	18%	到達	8	4%	到達	42	23%
到達目標値～習得目標値	156	84%		141	76%		123	66%		161	87%		137	74%
185			185		185		185		185					

\* 到達目標値とは東京都が定めた達成することが期待される数値(教科書の練習問題レベルの問題数)、習得目標値とは全員がクリアしていかなければならない数値(教科書の例題レベルの問題数)のこと。